

Y2K さやま

西暦2000年問題の対応

狭山市西暦2000年問題対策本部を設置

事前防止・事前対応から万一の危機管理へシフト

狭山市は、コンピュータ西暦2000年問題への対策として、これまで情報システムにかかわる障害などの事前防止策として、調査、修正、模擬テストなどを行い、現在は、何らかのトラブル発生を前提にした「危機管理」に重点を置いた対応に転換しました。10月18日には市長を本部長に各部長を本部長とする「狭山市西暦2000年問題対策本部」を設置し、障害発生後の事態収拾を視野に入れた態勢を強化しました。そして、政府が先月末に報道発表をした「年末年始に向け国民に呼びかける心構えや準備」では、個人や家庭にも自主的な危機管理を促しています。今月は、西暦2000年まで残り50日となった狭山市の対応について「市役所の業務や地域・ご家庭での対策」などについてお知らせします。



西暦2000年問題とは...

コンピュータなどで日付の処理が西暦2000年の下2桁で行われている場合、西暦2000年が「00」になり、2000年と1900年が区別できなくなるため、データ処理を誤ったり、システムが作動しなくなったりすると考えられています。

また、コンピュータだけではなく、日付を計算・処理する電子部品を組み込んだ機器も前記と同様の問題が発生する可能性があります。また、2000年以前であっても2000年以降の日付処理をする場合に発生する可能性があります。

『Y2K』とは、西暦2000年 (Year 2000) のことです

コンピュータシステムの 模擬テストを完了

狭山市が保有する汎用コンピュータのシステムは、住民記録(住民票の写し)をはじめ市民税や固定資産税、税の収納など市民皆さんと直結する骨幹的な市役所業務を担っています。これら基幹システムは、今年3月の課税処理に際して早い時期からシステムプログラムの調査と修正を行い、各種税金については、2000年の納期期計算を完了して皆

さんに郵送しました。そして、これからプログラムは2月から夏までにすべての内部テストを終え、11月6・7日には基幹オンラインシステムにコンピュータ日付2000年2月29日をセットして模擬テストを実施し、誤動作などが起きないことを確認しました。このテストは、さらに年始にも予定し、市では万難を排していきます。



システムの誤動作をチェックする職員



コンピュータの日付管理の問題から、事務機器や家電製品などに利用されている膨大な数の汎用マイクロチップに起因する西暦2000年問題への対応は、単にコンピュータシステムの問題から社会インフラと市民生活に直接影響する問題へと関心が高まっています。

政府発表では、先月に国民へ呼びかける心構えと準備として、各家庭に対して2~3日分の食料や飲料水の備蓄のほか、常備薬の事前入手、不安に付け込んだ悪質商法や詐欺への注意、また中小企業へはコンピュータのデータ保存（バックアップ）や原材料の在庫確認などを呼び掛けています。

このような中で、狭山市ではかねてから設置していた「西暦2000年問題緊急対策チーム」を軸に、全庁的な危機管理対策の体制整備と万が一の初期動作・対応体制を確立するために「狭山市コンピュータ西暦2000年問題対策本部」を設置しました。

対策本部の配備体制(下図)は、11月から基幹システムをはじめ重要機器の監視体制をとり、年末年始の越年時間帯にも水道職員を配置することとしました。また、万一の緊急時体制は2段階(レベル1・2)と非常事態体制(レベル3)を設け、非常事態では、市の防災計画に基づき災害対策本部を緊急設置します。

西暦2000年まで残り50日... 対策本部は監視体制に

●対策本部配備体制

配備体制	配備時期	配備内容
常備体制	本部設置の日から本部解散の日まで	各部署は、担当業務に関し、2000年問題を意識した監視・点検を日常的に行う
監視体制	1999年11月~12月 <越年時間帯> 1999年12月31日、22時30分から 2000年1月1日、1時30分	越年時間帯に監視・点検が必要なシステム・機器として、対策本部が指定したものについて各部署は、担当業務を監視・点検し、障害が発見されたらそのつど対応する
緊急時体制1	行政の重大な異常または地域の異常が発生した場合	情報収集・伝達、市民の問い合わせ対応、関係機関連絡、広報の各担当は、決められた場所に集合し、必要な対応をする
緊急時体制2	地域に重大な異常が発生した場合	本部員は全員決められた場所に集合し、必要な対応をする 異常状態の程度により、災害対策本部の設置を検討する
非常事態体制	地域に重大な異常が発生し、混乱のおそれがある場合	災害対策本部を設置する

3階以上の集合住宅などは受水槽の事前確認を






受水槽が設置してある3階以上の集合住宅や飲食店、工場などでは、受水槽から給水ポンプで送水するシステムになっています。ポンプを含めた受水槽から蛇口までの管理責任は、設置者にあります。万一、ポンプが停止すると断水となりますので、これらを管理しているかたは、必要な点検とメンテナンス体制などの事前の確認をしておいてください。

→水道業務課へ内線2316

Y2K さやま

西暦2000年問題の対応

●狭山市における主な対応状況

市のシステム・機器	市の対応状況
窓口オンラインシステム	住民記録、税、福祉などのシステムは、プログラム修正を100%終了した11月3・6・7日に模擬テストを実施済み（正常動作を確認） 2000年の窓口事務の開始に先立ち、年始に最終稼働を確認する
水道 	市内各浄配水場の水圧などの給水状況を監視するコンピュータシステムを導入しているが、全システムを調査した結果、2000年を迎えても支障なく稼働することを確認済み 万一の場合は、手動運転に切り替え可能（各浄水場には自家発電機あり） 越年時（12月31日～2000年1月1日）に市内各浄配水場に職員を配置し監視体制を強化する
下水道	荒川右岸流域下水道の新河岸処理センター（埼玉県が管理）では、コンピュータシステムを用いているが、下水処理自体は2000年問題に影響ないことを確認済み
ごみ処理 	第一・第二環境センター（一般ごみ焼却施設） 自動燃焼制御システムを導入しているが、日付は燃焼記録処理に用いており、燃焼制御自体には用いていないこと、システム自体の動作を確認済み 万一の場合は、2か所の環境センターで燃焼計画の調整により対応するし尿処理場 処理システムなどの導入がないため、問題は発生しないことを確認済み
消防・救急 	消防本部・消防署・富士見分署・広瀬分署・水野分署の消防緊急情報システムおよび消防・救急無線システムは、西暦2000年問題対応済み 市内の現場確認および民間対応を確認・連絡体制の整備を推進 万一の場合は、危機管理/行動計画に基づき対応する
医療機関	市内医療機関 医療機器などについては、西暦2000年問題への対応について確認済み

●西暦2000年問題 / 狭山地域の重要5分野

分野	企業・機関	問い合わせ窓口	電話番号
金融	全銀行協会	銀行よろず相談所(埼玉)	048 - 829 - 2151
		銀行よろず相談所(東京)	03 - 5252 - 3772
エネルギー	狭山市指定金融機関	あさひ銀行狭山支店	953 - 2121
	東京電力	所沢営業所	992 - 8181
	武州ガス	本社(川越)	0492 - 41 - 9000
	日本ガス	狭山センター	957 - 7701
情報通信	NTT東日本 所沢営業支店	各種サービスなどの相談	116
		故障の場合	113
交通	西武鉄道	問い合わせ部署を検討中	—
	JR東日本	首都圏地区の列車運行情報	0180 - 993 - 900
	西武バス	川越営業所(運行情報)	0492 - 44 - 1155
医療	狭山市医師会	医師会事務所	957 - 7077
	狭山市歯科医師会	歯科医師会事務局	957 - 7036
	狭山市休日診療急患センター	健康推進課	平日 953 - 1111
		休日診療急患センター	休日 958 - 8771

*いずれも緊急時の連絡先ではありません

水道、ガス、電気、通信、医療
民間企業とも連携

政府は金融、エネルギー、情報通信、交通、医療を西暦2000年問題の重要5分野に指定して、企業の取り組みを点検し、対応は順調に進んでいることを報道機関や各官庁のインターネットで発表しています。狭山市の取水施設および配水施設の管理システムについては、カレンダー機能による制御を行っていませんので、2000年問題の発生する可能性はないと考えています。万一、自動運転が停止した場合でも、24時間監視体制をとっていますので手動運転で給水が続けられます。また消防本部では、消防緊急情報や消防・救急無線などのシステム監視とともに、市内事業所などの調査を行い、本署および市内3分署の連携と体制を強化し、市民皆さんの安心にお応えします。

市内の環境センター（ごみ焼却施設）2施設では、自動燃焼制御システムの導入業者を通じて影響がないことを確認し、万一の場合は2施設で燃焼計画を調整して対応することとしています。さらにガス、電気、通信、情報通信、医療、金融機関、そして埼玉県とも対策本部を通して情報収集および市民の皆さんへの伝達が円滑にできるよう、連絡体制（上記のとおり）を強化し、万一に対し万全を期していきます。

西暦2000年問題 政府が国民の心構えを呼びかけ

(10/29 朝日新聞夕刊抜粋)

コンピュータが誤動作を起こす恐れのある西暦2000年問題で、政府は、年末年始の心構えや準備について、国民に呼びかける内容を決定しました。政府は、この問題が日常生活に深刻な影響を及ぼす可能性は小さいとしながらも、「万一の場合を想定し、国民一人ひとりが準備を整えることは重要」との立場から、次の11分野について備えを勧めています。

食料・水・電気・ガス	食料の供給や電気、ガス、水道に大きな問題は起きない見通し。ただ、地震や風水害に備えて家庭で準備している2～3日分の食料や飲料水、救急箱、懐中電灯、ラジオなどについて、この際に点検をしてください。
預貯金の記録	金融機関、郵便局の預貯金記録はバックアップを取るの、大きな問題は起きない見込み。念のため、年末年始までに受け取る領収書を保管し、来年1月以降に受け取る請求書などに誤りがないか確認してください。
現金の引き出し	金融機関、郵便局では、預貯金の払い戻しなどに支障がないよう万全の態勢で臨むので、例年どおりの対応を。多額の現金を手元に置くと盗難の危険があることも十分に注意を払う必要があります。
灯油・ガソリン	石油関連各社は、灯油、ガソリンなどの供給に支障がないよう万全の態勢で臨む方針。また国内には約166日分相当の石油が備蓄されている。各家庭は、例年どおり適量の確保をしてください。
薬・医療機器	常備薬はこの際、点検を。在宅療養中で医療機器を自宅で使っている人は、主治医に必ず相談を。心臓ペースメーカーなど患者の生命に影響する可能性がある医療機器については、問題が起きない見込み。
家電製品	冷蔵庫、洗濯機、掃除機、電子レンジ、炊飯器、エアコンなどに問題は起きない見通し。パソコンやファクス、電話、ビデオなどの一部で、日付表示のずれなどが起きます。疑問点はメーカーへ確認をしてください。
電話・インターネット	電話、インターネットに大きな問題は起きない見込み。ただ特定地域で利用が集中すると回線がつながりにくくなることがあります。年末年始に電話がつながるかどうかの確認など不急の利用は控えるよう、ご協力ください。
旅行	国内旅行に問題はない見込み。海外旅行は、国により不都合が起きる可能性を考えて余裕のある計画を。海外旅行傷害保険が2000年問題に対応しているかの確認や滞在先の最新情報のチェックをしてください。
悪質商法	2000年問題に絡めて消費者の不安をあおる悪質商法やコンピュータの誤作動などを口実にした詐欺的な行為が起きる可能性が指摘されています。十分に注意し、不審に思ったら早めに警察などに相談してください。
コンピュータウィルス	「2000年問題を解決するプログラム」などと称してコンピュータウィルスを広める行為がすでに発生しています。ウィルスのチェックやパスワードの管理をはじめとする安全対策を、この際に徹底してください。
中小企業対策	必要なコンピュータ情報を印字しておくなど、バックアップの確保や社内の緊急体制など危機管理計画について再度、確認をしてください。埼玉県の中企業地域情報センターで相談を受け付けています。

ご家庭での点検 政府呼びかけの11分野で準備を

2000年まで残り50日。これからの季節、暖房器具をはじめタイマ付きの電気器具の利用が多くなります。ご家庭内でもマイクログリップの利用者として、西暦2000年問

題の点検が必要となります。政府の心構えなど11分野で、ぜひ確認・準備をしてください。また重要5分野での問い合わせ体制は整っていますので、生命、財産にかかわる大切な

ことは、メーカーや関係企業への確認が大切です。市では、今回のお知らせだけでなく政府、各官庁、民間企業と同様にインターネットでもコーナーを設けて情報提供をしていきます。また緊急対策チームや各業務担当課でもお問い合わせに応じています。

問い合わせ 西暦2000年問題緊急対策チーム内線2070 水道業務課内線2316 消防本部警防課953・7114 第一環境センター953・2831 住民票、税、福祉は各担当課へ